



「Spring Pegasus」(表紙も広げてご覧ください)

## 【太陽が生まれる場所】

遙か昔 太陽が生まれる場所を探して  
旅に出た者がいた

朝になると 山の頂の向こうから

水平線のかなたから 地平線のかなたから

ひよっこり顔を出す太陽は

古代人の心を そして今もなお、

希望の光として すべてを照らすものとなる

遠い昔 太陽が生まれる場所を探して

旅に出たものは 長き長き 航海を経て

とうとう探当てたのだ 東の果ての島々を

そこは一面 森におおわれていて

うっそうとした森林の中に たくさんの生き物がいた

ごつごつとした岩肌の間からは 岩清水が流れていた

そのひと口を 初めて口に含み入れた時の感動は

いかばかりであったろうか

太陽が生まれる場所は 時に厳しく 時に優しく

すべてを包み はぐくんだ

数え切れぬほど繰り返した昼と夜 時は流れる

人々は いのちを繋ぎ 受け継いでいった

こうして われという生命が生まれた 彼らは今でも

私の中に生きている 血の奥にあるDNAの記憶として

彼らは言う 太陽が生まれる場所に 辿り着いたものたちが

誇り高く 歩みませ 愛とともに 進みませと

## はせくらみゆきのおひさまだよ!

Vol.48

### 【フゴツペ洞窟】

先日、鳴海さんとご一緒に  
余市郊外にあるフゴツペ洞窟  
を訪れました。数十年前から  
名前だけは知っていました  
が、全く興味はなく、ふーん、

昔の人が岩に絵を描いたんだ  
な程度の認識でした。けれど  
も古代史に興味を持ってから  
訪れたフゴツペは圧巻の迫力  
でした。解説では縄文時代の  
の初めてのころ描かれたという  
ことでしたが、実際は、それよ

りも古い時代からあったもの  
の上に、後の時代の人が足し  
て岩に刻み入れたのだと思い  
ます。大切なことは、そこに、  
彼らの生きた証や歴史を刻ん  
でいたのだということ。岩肌  
を観ながら、先人たちが繋い  
でくれたいのちの歴史の延長  
線上の今を生きていること  
に、感慨を覚えました。



はせくら みゆき (画家・作家)

画家・作家。芸術や科学、ファッション、経済まで、ジャンルにとらわれない幅広い活動を通じて、生きる喜びをアートや文であらわす「ミラクルアーティスト」。日本を代表する美術家の一人として、国内外で活躍している。2017年には国際平和褒章を受賞。主な著書に『パラダイムシフトを超えて』(徳間書店)『一寸先は光です』(青林堂)他多数。一般社団法人あけのうた雅楽振興会代表理事。英国王立美術家協会名誉会員。